

No.	012	—	1017	事務事業名	生ごみ処理機設置事業補助金						公的関与	9		
PLAN	課名	環境保全課		係名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等		実施計画	非該当		事業期間	平成 16 年度 ～ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	3 環境施策の総合的推進		主要施策	3 生ごみ減量・リサイクルシステムの構築					
	事業の目的	一般家庭から排出される生ごみ減量のための生ごみ処理容器等の設置を促進し、市民のごみ資源化及び減量意識の高揚を図ります。						根拠法令等						
	事業の手段	市内の一般家庭で使用するための生ごみ処理容器等を購入する者に対して補助金の交付を行います。						掲載計画	東温市一般廃棄物処理基本計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標			
		生ごみ処理容器等の設置		生ごみ処理容器等の設置基数			基	目標	30	30	23	-		
								実績	14	15				
								目標						
								実績						
						目標								
DO	活動内容	①	補助金制度の周知				④							
		②	補助金申請の審査・補助金の交付				⑤							
		③												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費				
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考								
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	54 千円	68 千円	128 千円									
	計(A)	54 千円	68 千円	128 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	624 千円	0.051 人	319 千円	0.051 人	316 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)	678 千円		387 千円		444 千円									
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
必要性	県内市町のほとんどで同様の事業が実施されています。生活に密着したごみの資源化・減量化に繋がるものとして毎年一定の申請があります。													
有効性	生ごみ処理容器等を利用することでごみの資源化・減量化が図られ、また、処理容器等の使用により生ごみに含まれる水分が減少することで効率よく焼却処分できます。													
達成度	設置基数については毎年横ばいの状態であるものの、生ごみの資源化・減量化に着実な成果が挙げられています。													
効率性	現在の補助制度は、生ごみ処理容器等の購入前に補助金の事前申請が必要となりますが、他の自治体では購入後の申請としているところもあるため、申請者負担の軽減・業務の効率化の観点から申請方法に改善の余地があります。													
当面の課題	設置基数が横ばいの状態であり一定の成果は出ているものの、更なる生ごみの資源化・減量化を図るには補助制度の認知度向上が必要となります。													
改 革 計 画	広報やホームページでの補助制度を周知するほか、生ごみ処理容器等の利用方法を周知し、補助申請件数の向上を図ります。													
二次評価者	環境保全課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善	
二次評価での指摘事項	目標基数と比較してかなりの差が出ています。手続方法の改善だけでなく、対象機器などについても検討し、補助申請件数の向上を図ってください。													

No.	012	—	1031	事務事業名	ごみ集積場設置事業補助金				公的関与	9			
PLAN	課名	環境保全課		係名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	kankyohozen@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等		実施計画	非該当		事業期間	平成 16 年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	3 環境施策の総合的推進		主要施策	3 ごみ減量・リサイクルシステムの構築				
	事業の目的	地域の集積場施設整備を支援し、地区の経済的負担を軽減するとともに、施設の利便性向上を図ります。					根拠法令等	東温市燃やさないごみ粗大ごみ置場施設整備費等補助金交付要綱					
	事業の手段	地区が実施する燃やさないごみ又は粗大ごみ置場施設の整備事業に対して、交付要綱に基づき予算の範囲内において補助金を交付します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標		
		施設整備自治区数(整備箇所数)		施設整備要望自治区数			区	目標	3	1	2	-	
								実績	3	2			
								目標					
								実績					
						目標							
						実績							
活動内容	①	燃やさないごみ粗大ごみ置場施設の新設に係る補助				④							
	②	既存の燃やさないごみ粗大ごみ置場施設の修繕に係る補助				⑤							
	③												
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	1,350千円	1,264千円	639千円								
	計(A)	1,350千円	1,264千円	639千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.025人	156千円	0.051人	319千円	0.051人	316千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		1,506千円	1,583千円	955千円								
一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	ごみ集積施設の整備は市民の生活に直結するものとして、毎年複数の自治区より要望があることから、継続して実施することが必要です。												
有効性	施設整備には多額の費用を要する場合もあり、費用に対して一定の助成を行うことにより、地域の経済的な負担の軽減が図られます。												
達成度	毎年の整備件数は限られているものの、施設整備を行うことにより地域のごみ収集環境が改善され、利用者の利便性向上に繋がっています。												
効率性	補助金交付事務において、施設整備自体の事業主体が自治区であることから、申請事務や施工等に関して自治区の協力が得られており、適正に事業が実施できています。												
当面の課題	既存施設の老朽化や不法投棄対策等に伴い、今後、施設整備に係る要望が増加することも想定される中で、地域のごみ収集環境の改善を図るため、限られた予算においてより効果的な成果をあげる必要があります。												
改革計画	利用者の利便性や施設整備の緊急性等を考慮し、要望のある関係自治区の理解・協力を得ながら事業に取り組み、ごみ集積場環境の改善に努めます。												
二次評価者	環境保全課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	ごみ集積場はそれぞれの地域で運営管理されているものですが、管理に必要な修繕や施設整備に係る費用が高額な場合もあることから、適切な運営管理のために補助することは必要であると考えます。												